

編集後記

＜特集：溶接・接合技術＞

＊溶接・接合技術の特集号をお届けしました。当社は炭素鋼、低合金鋼、高合金鋼、アルミ合金用の溶接材料、溶接システムに加え、顧客に溶接ソリューションを提供するための溶接プロセスを開発しています。日本はもとより海外においても生産量を増やし、顧客より信頼を頂き、当社の商品は使用されています。生産工場として、日本での6工場に加え、'13年4月現在で海外の生産工場・販売拠点は9箇国で展開しております。

＊溶接事業のフィールドは世界へと移りつつあります。これまで国内で培った市場、例えば造船、橋梁、鉄骨、建機、輸送機などは堅持します。同時に、日本発の技術を海外に向けて発信することで海外大口ユーザに提案し、海外拠点を中心とした地域密着型の販売体制を強化します。国や地域のニーズにフィットしたローカルブランドも拠点と力を合わせて開

発し拡販して行きます。「世界で最も信頼される溶接のプロ集団」を目指します。＊今後伸長が期待できるエネルギー市場、その中でもとくに石油・ガスの掘削・貯蔵・輸送を受持つ海洋構造物やパイプライン、それらの資源をエネルギーに変換するリアクタやボイラ、風力をエネルギーに変換する風車など、溶接事業が活躍できるフィールドは大きな広がりがあります。鋼構造物の設計を始める時には、世界からまず「神戸製鋼に相談」が来るようになりたいと思います。

＊今回まとめました20件の資料には、世界の市場で戦うための技術基盤はまだ十分には描けていません。今後の宿題は沢山あります。次回の溶接・接合特集には、少しでも「世界で最も信頼される溶接のプロ集団」に近づいた姿を描けることに思いを馳せ、今回の特集号の筆を置きます。

(清水弘之)

次号予告

＜特集：エネルギー機器＞

＊当社機械事業部門は、さまざまなエネルギー関連機器の開発を行うとともに、省エネルギー技術の向上に努めております。そして、これらの技術を応用した製品を国内外に供給し、高い評価をいただいております。

＊機械事業部門において、エネルギー機器を製造している部門は大きく二つに分かれ、機器本部と圧縮機事業部があります。

＊機器本部では、エネルギー関連機器に関しては、LNG関連機器、高性能熱交換器などの開発を行っております。世界的にエネルギー需要が高まり、効率的にエネルギーを変換する技術、エネルギーの有効利用技術が求められております。次回の特集号では、LNG気化器とその関連技術を中心に紹介します。

＊圧縮機事業部は、圧縮機、膨張機を応用して、さまざまな省エネ技術、エネルギー有効利用技術の開発を行っております。省エネ技術では、空気圧縮機、冷熱機器において、圧縮機本体性能を向上させると共に、運転状況の変化に応じて、常に最適運転にコントロールする制御技術を開発し、省エネルギー化を進めてお

ります。

＊エネルギー有効利用技術は大きく二つに分かれます。一つは、水蒸気の有効利用で、工場などで余剰蒸気が発生し、いまままでこれらの蒸気は有効に利用されず放気されておりました。これらの蒸気を膨張機により発電、駆動源として利用する技術、また蒸気を圧縮して有効利用する技術を確立しました。

＊もう一つは、自然エネルギーの有効利用です。東日本大震災により、自然エネルギーの利用がクローズアップされてきました。当社はスクリュウ技術を応用して、高温の温水の熱エネルギーを電力に変換するバイナリー発電システムを開発し、2011年10月に商品として上市しました。

＊今回は、省エネ技術を適用した圧縮機、冷熱機器の紹介、および蒸気、温水エネルギーを有効利用する蒸気関連機器、バイナリー発電システムについて紹介いたします。

＊これらの製品を通じて、当社の省エネ、エネルギーの有効利用への取組をご理解いただければ幸いです。

(吉村省二)

＜編集委員＞

委員長	杉崎康昭
副委員長	中川知和
委員	井上憲一
	清水弘之
	竹之下登
	中島悟博
	橋村徹
	前田恭志
	三村毅
	森啓之
	吉村省二
	＜五十音順＞
本号特集編集委員	清水弘之

R&D[®] 神戸製鋼技報

第63巻・第1号（通巻第230号）

2013年4月11日発行
年2回（4月、8月）発行
非売品 　　＜禁無断転載＞
発行人 杉崎 康昭

発行所 株式会社 神戸製鋼所
秘書広報部
〒651-8585
神戸市中央区脇浜海岸通
2丁目2番4号

印刷所 福田印刷工業株式会社
〒658-0026
神戸市東灘区魚崎西町4丁目
6番3号

お問合わせ先 神鋼リサーチ株式会社
R&D 神戸製鋼技報事務局
〒651-2271
神戸市西区高塚台1丁目5-5
(株)神戸製鋼所内
FAX(078)992-5588
rd-office@kobelco.com

2013年4月11日

各 位

(株)神戸製鋼所
秘書広報部

「R & D 神戸製鋼技報 Vol.63, No.1」お届けの件

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「R & D 神戸製鋼技報 Vol.63, No.1」を発行しましたのでお届け致します。
ご笑納のうえご高覧いただきましたら幸甚です。

なお、ご住所・宛先名称などの訂正・変更がございましたら、下記変更届けに必要な事項
をご記入のうえ、FAXにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

神鋼リサーチ株式会社
R&D神戸製鋼技報事務局 行
FAX 078-992-5588
rd-office@kobelco.com

変 更 届

	変 更 前	変 更 後
貴社名		
ご所属		
ご住所	〒	〒
宛名シール 番号	No. _____ ←(封筒の宛名シール右下の番号をご記入下さい)	
備 考		
本紙記入者	お名前：	TEL：